

競 技 大 会 規 定

- 1 各大会の実施要項は、年間スケジュールと共に一括して年度はじめに各チームに示し、変更通知のない限りそのつどは連絡しない。
- 2 参加申し込みはフォームズで期間内に回答して行うこと。フォームズの URL は代表顧問にメールで案内する。申し込み状況及び受付番号はメールで連絡する。抽選は受け付けた順に行うので、受付番号を必ず確認すること。電話または口頭による申し込みは受け付けない。
- 3 抽選会にはチームの代表者が必ず出席しなければならない。（申し込みを受け付けていても抽選会に出席しなければ不参加とみなすので、交通事情等の事由で遅刻が予測される場合は定刻までに会場へ話を入れること。ただし、学校行事等の事由で事前に出席できないことがわかっている場合は、その旨を専門委員長に申し出ることにより、代行してもらうことができる。）
- 4 監督は学校長の認めた当該校の教職員（教諭、助教諭、常勤講師、職員、助手）、または外部指導者監督申請手続きにより認められた者でなければならない。マネージャーは当該校の教職員、または生徒（新人選手権では2年生以下）でなければならない。コーチは当該校の教職員、またはコーチ申請書を本部会に提出し認められた者（高校在学中の者は除く）でなければならない。
- 5 出場選手は必ず引率責任者（教員）によって引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。ただし、監督が職員、助手、外部指導者監督の場合に限る。
- 6 すべての試合において、公式練習開始時刻から15分経過しても試合のできない状態のときは没収試合とし、当該チームを不戦敗とする。
- 7 選手の参加資格は特定の大会（京都高校総体）を除き、4月2日現在で満19歳未満の者でなければならない。ただし、同一学年、同一大会での出場は1回限りとする。特例として、中国残留日本人孤児及びその子女については年齢制限を撤廃する。
転入生については転入手続き完了後6か月を経過した者であること。（予選会も含まれる）ただし、一家転住等の理由によりやむをえない場合は、京都府高体連会長の認可があればこの限りではない。
留学生（卒業を前提とした生徒）は、ベンチ入りが2名以内で、ゲームにはそのうち1名がコートに入れる。
- 8 大会に参加するチームは、公益財団法人日本バレーボール協会に有効に登録され（チーム登録・個人登録）、登録費、参加料を納入しなければならない。
ただし、京都府高等学校総合体育大会はこの限りでない。

- 9 各大会のチーム構成については、監督・コーチ・マネージャー各1名・選手14名（うちリベロ2名）計17名とする。ただし、選手は18名まで申し込むことができる。そして、試合毎に14名をエントリーすることができる。
- ※チームが記録用紙に12人を超えた選手を記載している場合は、チームリストには2人のリベロを置かなければならない。
- ※大会中、選手の変更及び背番号の変更はできない。尚、ベンチスタッフ（監督・コーチ・マネージャー）の変更は認める。
- 10 試合中、選手に負傷（痙攣等）が生じた場合、審判の許可を得た上で、フリーゾーン外でのベンチスタッフ以外による治療は許可される。（ベンチスタッフ以外の者は、ベンチ・フリーゾーン内へは入れない。）治療後、当該選手は試合に復帰できる。なお、ベンチスタッフ以外の者を起用する場合は、本部に申し出て「チーム関係者」のネームプレートを着用すること。
- 11 本協会が関与する大会で「府予選・府大会」以外はすべて南部と北部に分けて各々運営する。
- 本規定に明記されていない事項や年度途中において変更された事柄については、常任委員会で審議決定し抽選会の際各チームに連絡する。

(附記) 交通スト、台風等により日程が変更されると予測されるときは、競技委員長、同副委員長へ問い合わせること。